

教科名	国語	科目名	国語演習	単位数	3 単位
対象学年	第2学年 ビジネス総合科 ビジネス・生活福祉コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
科目の目標	1年の時の目標である「国語を適切に表現し、的確に理解する能力の育成」・「伝え合う力の向上」・「思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨く」・「言語文化に対する関心を深める」を、より徹底し、国語力を高め、国語を尊重する心を養う。				
学習内容の概要	三省堂「明解国語総合 改訂版」を、授業の基本とし、漢字学習として尚文出版「常用漢字クリア」を使い、文学史を尚文出版「国語必携パーフェクト演習」で理解の定着をさせる。				
学習方法	読解力を養うために、授業で板書をしながら、生徒に理解させるようにする。また、国語の表現力をつけるために、夏休みには、読書感想文を書くようにしている。また、就職・進学に対応するために漢字学習として、尚文出版「常用漢字クリア」を使い、文学史を尚文出版「国語必携 パーフェクト演習」で理解の定着をさせる。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価を踏まえ評価する。				
使用教材	三省堂「明解 国語総合 改訂版」 尚文出版「常用漢字クリア」 尚文出版「国語必携パーフェクト演習」				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時 間	学 習 の ホ イ ン ト	主 な 学 校 行 事
4	小説三	羅生門 漢字演習(P64～P71)	9 3	近現代の短編小説を読む楽しさを理解させ、人間のエゴイズムと、モラルの葛藤を共感させることを目標とする。	始業式
5	随筆	徒然草「高名の木登り」 「丹波に出雲といふ所あり」 漢字演習(P72～P79)	8 3	徒然草を読むことにより、兼好法師の人物や社会に対する鋭い視線を理解させ、古文の世界に親しみを持つようにさせる。	中間考査
6	随筆	枕草子「五月ばかりに」 漢字演習(P80～P103)	9 6	清少納言の機知に富んだ文章を読み味わうことにより、王朝文学に対する興味・関心を喚起する。また、古文常識についても触れていく。	
7	小説二	バスに乗って 漢字演習(P104～P111)	5 1	比較的平易な小説を読み、善意の人間、市井の人たちの温かな心にふれ、日々生きていく上のささやかな幸せに気づかせるようにする。	期末考査 終業式 夏期補習
8	随想三	豊かな仕事言葉	3	「豊かな仕事言葉」のような言葉でしか表現できない手仕事について深く考察し、人と物の関係を気づかせる。	始業式
9	漢詩の世界	勸酒 江南春 漢字演習(P128～P139)	3 3 3	漢詩は、古来から日本人が親しみを持っていた物であり、有名な詩を取り上げることで、学習者の心情も豊かにする。	
10	随想三	「発見」最初は気づかない 漢字演習(P112～P127)	8 4	生命化学の研究における筆者の試行錯誤の後を追いつながら、科学的な研究の本質がどのようなものであるのか認識を深めるようにする。	中間考査
11	随筆 物語	枕草子「にくきもの」 伊勢物語「芥川」 漢字演習(P140～P151)	8 5 3	清少納言の機知に富んだ文章と、みやびの文学と言われる伊勢物語を読むことによって、古文に対する親しみをを持たせる。	
12	文学史	パーフェクト演習(P4～P15)	6	「国語常識」として、文学史の定着を計る。また、単なる名前の暗記にならないように、具体的な内容を提示していく。	期末考査 終業式
1	小説二	なめとこ山の熊	9	宮沢賢治の世界観を理解すると共に、物語の中に立ち現れる生命観や人間観・自然観について理解を深め、表現の面白さを味わう。	始業式
2	文学史	パーフェクト演習(P16～29) 漢字演習(P152～P169)	8 4	明治時以降の文学史をしっかりと押さえて、文学史の定着を計る。特に、文学史の流れに注目して、様々な文学作品を、紹介する。	期末考査
3	物語	伊勢物語「筒井筒」	9	伊勢物語を読むことにより、和歌が人々の心を打ち続けていることを理解させる。また、人物や状況を想像できるようにする。	終業式

教科名	地理	科目名	地理A	単位数	3単位
対象学年	第2学年 ビジネス総合科	履修形態	必修	授業形態	クラス単位
科目の目標	「現代世界の地理的諸課題を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を養う」という指導要領に示された目標が本科目の目標である。				
学習内容の概要	「私たちの地球を見つめる」「さまざまな地域の生活と環境」「地球的に広がる課題」の3部を学習する。				
学習方法	科目の目標が達成できるように、また単なる知識の暗記に陥らないように生徒自らが「何故だろう」と絶えず発想し、興味を持って学習できるように工夫する。				
評価の観点・ 評価方法	知識の暗記だけではなく、発想の広がりを持った生徒を育てることに留意したい。 具体的な評価として、定期考査・各課題の提出状況・出席状況・授業中の態度等をもとに総合的に評価する。				
使用教材	帝国書院「高等学校新地理A初訂版」 帝国書院「新詳高等地図初訂版」				
その他					

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な評価
4	「人間生活と り巻く環境」	○自然環境・社会環境 ○世界と大地形 ○山地・平野の地形と人々の生活	3 3 3	○内的営力・外的営力・プレートテクトニクス論等を理解させる。 ○様々な地形のもとで人々は自然に適応しながら生活しており、特に沖積平野(扇状地・三角州)・洪積台地等で土地利用の仕方、集落の立地について考えさせる。	始業式
5	「人間生活と り巻く環境」	○海岸の地形と人々の生活 ○氷河・カルスト・乾燥地形  ○生活と気候の関わり 気候要素・因子、風の種類など ○ケッペンの気候区分 熱帯の生活	3  3 3	○リアス式海岸の特徴から、何故「津波」の被害が恐ろしいかを考えさせる。 ○具体例を挙げ、写真や地図で確認しながら、地形の成因などを考えさせる。  ○写真を参照させたいうで、雨温図や分布図の読み取りをさせ、各気候の特徴を理解する。	中間考査
6	「人間生活と り巻く環境」	乾燥帯の生活 温帯の生活 亜寒帯・寒帯の生活 ○人々の生活と社会環境 宗教・言語	3 3 3 3	○ 同上  ○世界の人々の生活と宗教・言語の関わりを具体的事例から理解させる。	インター ンシップ  期末考査

7	「世界の諸地域の生活・文化」	○中国の生活・文化 自然環境・歴史	3 3 3	○広大な国土、多様な自然環境、巨大な人口を持つ中国の変化を理解させる。	終業式
8	「世界の諸地域の生活・文化」	農業・工業	3	○同上	始業式
9	「世界の諸地域の生活・文化」	○朝鮮半島の生活・文化 自然環境・歴史・工業  ○東南アジアの生活・文化 自然環境・歴史・農業・工業	3 3  3 3	○韓国の自然環境を理解し、どのような歴史を辿り、現在の社会があるのかを考え、日本との交流を考察させる。  ○東南アジアの民族、文化(言語・宗教・生活)の多様性を理解させる。ASEANにも触れておく。 東南アジアの場所も確認させる。	
10	「世界の諸地域の生活・文化」	○インドの生活・文化 自然環境・歴史・農業・工業  ○中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化 自然環境・歴史・工業	3  3 3 3	○インドの自然環境を踏まえ、民族宗教であるヒンドゥー教がどのように文化や生活に影響を与えているのかを考察させる。  ○中央・西アジア、北アフリカの自然環境を踏まえ、それぞれの歴史とイスラム教がどのように結びついているのか理解させる。 ・豊富な石油資源がどのように人々の生活に影響を与えているのかを考察する。	中間考査
11	「世界の諸地域の生活・文化」	○サハラ以南のアフリカの生活 自然環境・歴史・文化  ○ヨーロッパの生活・文化 自然環境	3 3 3  3	○サハラ以南のアフリカの自然環境を踏まえ、歴史を辿り、どのような文化が形成されたのかを理解させる。 ・産業の変化や、南アフリカ共和国の変化や、経済的自立について考察させる。  ○ヨーロッパの自然環境を理解し、特色のある農業を知り、日本と比較する。	期末考査
12	「世界の諸地域の生活・文化」	文化・産業	3 3 3	○ヨーロッパの多様な民族・宗教・言語の違いを踏まえた上で、歴史を辿る。 ○EU(ヨーロッパ連合)のできる過程を辿り、ヨーロッパまた世界においてどのような影響を与えているのかを考え、問題点も検討させる。	終業式

1	「世界の諸地域の生活・文化」	○ロシアの生活・文化 自然環境・歴史・産業	3 3 3	○広大な面積・自然環境を踏まえ、気候区分を復習した上で、日本と比較する。 成立過程を社会主義の観点も踏まえ、現在の社会を考察させる。経済を支える豊かな資源を知り、日本とどのように関わりを持っているのかを把握させる。	始業式
2	「世界の諸地域の生活・文化」 「身近な知識」 「世界の諸地域の生活・文化」	○アメリカ合衆国の生活・文化 自然環境・文化・農業・産業  ○ラテンアメリカの生活・文化 自然環境・文化・	3 3 3 3	○異民族国家としての「アメリカ合衆国」の多民族・多文化の現状を中心に理解させる。 ○豊かな自然環境を生かし、オーストラリアではどのような産業が行われ、日本との関わりに焦点を当て考察させる。	期末考査
3	「世界の諸地域の生活・文化」 「地球的課題と私達」	産業 ○世界の食糧問題 ○世界の環境問題	3 3 3	○発展途上国では深刻な食糧不足で悩んでいる国が多い。「飽食日本」の現状を比較し考えさせる。 ○地球規模で進行している環境問題の解決への取り組みについて考えさせる。	終業式

教科名	数学	科目名	数学A	単位数	3 単位
対象学年	第2学年(商業科) ビジネス総合科	履修形態	必修	授業形態	学級単位/ 一斉授業
科目の目標	進学や就職など多岐にわたる進路希望に対応し、社会生活を送る上で必要となる数学的思考方と基礎的な知識の習得および技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。				
学習内容の概要	色々な三角形の辺の長さや角の大きさ、面積を求め方を学ぶ(三角比)。データの処理の仕方を学ぶ(データの分析)。数え上げが的確にできるようにし、確率計算を正確にできるようにする(場合の数と確率)。三角形や円について知識を深める(図形の性質)。整数特有の性質を学ぶ(整数の性質)。				
学習方法	講義を通じて教科書の内容を正しく理解する。同時に教科書の練習問題、教科書傍用問題集等の問題演習を通して基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	最新 数学 I (数研出版) 最新 数学A(数研出版) 教科書傍用問題集 ポイントノート数学 I (数研出版) ポイントノート数学A(数研出版)				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	三角比	三角比	3 3 3 3	いろいろな三角形の辺の長さや角の大きさ、面積の求め方を学ぶ。  資料の特徴を表す値や、資料の散らばり方、そして、何か傾向について、客観的な数値で表す処理の方法を学ぶ。  具体的な事象の考察などを通して、順列・組み合わせや確率について理解し、不確定な事象を数量的にとらえることの有用性を認識するとともに、事象を数学的に考察し処理できるようにする。	始業式 入学式
5		正弦定理・余弦定理	3 3		中間考査
6	データの分析	データの分析	3 3 3 3		進路合宿 期末考査
7			3 3 3		終業式 夏期補習
8	場合の数と確率	場合の数	3		始業式
9			3 3 3 3		中間考査
10		確率	3 3 3		
11			3 3 3 3		
12	図形の性質	平面図形	3 3 3		期末考査 終業式
1		空間図形	3 3 3		始業式
2	整数の性質	約数と倍数 ユークリッドの互除法	3 3 3 3		期末考査
3		整数の性質の活用	3 3 3		

教科名	理科	科目名	科学と人間生活	単位数	2 単位
対象学年	第2学年 ビジネス総合科	履修形態	必修	授業形態	単独
科目の目標	自然科学の一般的な教養を身につけさせることを目標にしている				
学習内容の概要	教科書の内容に準じた知識の習得と、自然科学の探求に必要な思考力を問う				
学習方法	演示実験や視聴覚教材を利用しながら教科書の内容を理解させる				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	教科書 高等学校 科学と人間生活 第一学習社、副教材 ネオパルノート科学と人間生活 第一学習社				
その他	生徒の進路や習熟度に応じて宿題提出をさせる。				

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事	
4	第Ⅰ編 科学技術の発展	1. 情報伝達の発展 2. エネルギー資源の活用と交通手段の発展 3. 医療技術の発展	6	科学技術の発展が今日の生活を豊かで便利にしてきたことに貢献し、社会の変化に影響を与えてきたことを、身近な科学技術の例から理解する。	始業式	
5	第Ⅱ編 人間生活の中の科学	材料とその利用 ①プラスチックの特徴 ②プラスチックのなりたち ③プラスチックの分類と用途 ④さまざまなプラスチック	14	(1)身の周りにあるプラスチックの原料と、特徴について理解する。 (2)原子の構造、共有結合とその種類、分子の表し方について、科学的な知識を身につける。 (3)プラスチックの性質と用途について、実験・観察などを通して科学的に思考する。	中間考査	
6	第1章 物質の科学	⑤金属と人間生活 ⑥金属の種類 ⑦金属の製錬とさび ⑧資源の再利用		(4)金属結合と金属の性質について認識する。 (5)主な金属の種類とその性質について、実験・観察を通して科学的に思考できる。 (6)材料の再利用方法に関心を抱き、再利用の必要性を科学的に認識する態度を身に付ける。		
7	第2章 生命の科学	微生物とその応用 ①身近な微生物 ②微生物の発見 ③生体内の微生物(1)(2) ④食品と微生物(1)(2) ⑤医薬品と微生物	16	(1)微生物と人間生活との関わりを論理的に思考し、細菌について科学的に理解する	期末考査	
8		⑥微生物の利用と広がりへの利用		(2)微生物の発見、自然発生説の否定、などの研究について、科学的、論理的に理解する。	終業式	
9		⑦医薬品への利用 ⑧これからの微生物の利用		(3)微生物による自然浄化を理解し、分解者や生産者としてはたらく微生物の存在を理解する。 (4)身近にみられる発酵食品に関心をもち、微生物のはたらきを論理的に思考する。 (5)病気の予防法・治療法の進歩に興味をもち、医薬品をはじめとする人間生活への貢献を科学的に理解する。	始業式	
10	第3章 熱や光の科学	熱の性質とその利用 ①温度と熱運動 ②熱容量と比熱 ③熱の伝わり方 ④仕事や電流と熱の発生 ⑤エネルギーの移り変わり ⑥熱の仕事への変換 ⑦エネルギー資源の有効活用	22	(1)温度について理解し、熱運動や比熱などの知識を身に付ける。 (2)熱伝導のしくみについて理解し、状態変化と潜熱の概念についての知識を習得する。 (3)仕事や熱とエネルギーの関係について、物理の考え方をいながら理解する。 (4)さまざまなエネルギーの形態やエネルギー保存の法則について、関心をもちて学習する。 (5)省エネルギーの試みや、代替エネルギーの開発について関心をもちて知識を習得する。	中間考査	
11						期末考査
12						
1	第4章 地球や宇宙の科学	身近な自然景観と自然災害 ①日本列島のなりたち ②火山や地震の活動と地表変化 ③水の働きと地表の変化 ④火山や地震の災害と防災 ⑤気象災害と防災	20	(1)日本列島の特徴と、日本列島付近のプレートの動きについて科学的に理解する。 (2)火山活動の原因や、地震発生のしくみについて、論理的に思考する。 (3)河川の働きや海水の働きによって形成された地形について、科学的に形成のようすを考察する。 (4)火山・地震・気象災害と防災について学習し、自然災害による被害や二次災害、また防災について科学的・論理的に理解し、的確に表現する。	始業式	
2						期末考査
3						

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	2 単位
対象学年	第2学年 ビジネス総合科男子	履修形態	必修	授業形態	合併クラス単位
科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	運動やスポーツの基礎・基本や安全について、しっかり学習し、自分で計画、工夫していける能力を高める。				
学習方法	陸上・マット運動・サッカーを通して、グループ活動の中で協調性を養う事で、関心や意欲を高めるとともに互いに協力して運動ができるようにする。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも実技試験と平常点で評価する。平常点20点は授業態度や意欲、出席点で評価する。				
使用教材					
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時 間	学 習 の ホ イ ン ト	主 な 学 校 行 事		
4	陸上	跳躍	2 2 2	自己の能力に応じた課題を目指し計画的な練習の仕方を工夫する。	始業式		
5		投てき	2 2 2		中間考査		
6		競走	2 2 2		期末考査		
7		跳躍・投てき・競走	2 2 2		測定。	終業式 夏期補習	
8			2		自己の能力に応じた目標を立てる。	始業式	
9		サッカー	パス		2 2 2	体の各部分を自分の意志で動かせるようにする。	学校祭
10			ドリブルシュート		2 2 2	ドリブルとシュートのタイミングに注意しながら練習する。	中間考査
11	ゲーム		2 2 2	協調性を高める学習をする。	期末考査		
12	バス		2 2 2	バスの種類を覚える。 正しいバスの仕方を学ぶ。 ルールを学ぶ。	終業式		
1	バスケットボール	ドリブルシュート	2 2 2	ドリブルとシュートのタイミングに注意しながら練習する。	始業式		
2		ゲーム	2 2 2	協調性を高める学習をする。	入試 期末考査		
3			2 2 2		終業式		

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	2 単位
対象学年	第2学年 ビジネス総合科女子	履修形態	必修	授業形態	合併クラス単位
科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	運動やスポーツの基礎・基本や安全について、しっかり学習し、自分で計画、工夫していける能力を高める。				
学習方法	陸上・バレーボール・バスケットボールを通して、グループ活動の中で協調性を養う事で、関心や意欲をより高めるとともに互いに協力して運動ができるようにする。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも実技試験と平常点で評価する。平常点20点は授業態度や意欲、出席点で評価する。				
使用教材					
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時 間	学 習 の ポ イ ン ト	主 な 学 校 行 事	
4	陸上	跳躍	2 2 2	自己の能力に応じた課題を 目指し計画的な練習の仕方を 工夫する。	始業式	
5		投てき	2 2 2		中間考査	
6		競走	2 2 2		期末考査	
7		跳躍・投てき・競走	2 2 2		測定。	終業式 夏期補習
8	バレーボール	パス	2	パスの種類を覚える。 (オーバーパス、アンダーパス) 正しいパスの仕方を学ぶ。	始業式	
9		サーブ	2 2 2		学校祭	
10		アタック	2 2		正しいアタックの仕方を覚える	中間考査
11		ゲーム	2 2 2		協調性を高める学習をする。	期末考査
12		パス	2 2 2		パスの種類を覚える。 正しいパスの仕方を学ぶ。	終業式
1	バスケットボール	ドリブルシュート	2 2 2	ドリブルとシュートのタイミング に注意しながら練習する。	始業式	
2		ゲーム	2 2 2		入試 期末考査	
3			2 2 2		終業式	

教科名	保健体育	科目名	保健	単位数	1 単位
対象学年	第二学年 ビジネス総合科	履修形態	必修	授業形態	学級単位
科目の目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	わが国の思春期から中高年期までの健康にかかわることがらや、それぞれの段階で必要な保健。				
学習方法	各項目を通して学ぶ事によって関心や意欲を高める。医療サービスの活用の仕方などについて学習し、理解できるようにする。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも筆記試験と平常点で評価する。平常点30点は授業態度や意欲、出席点で評価する。				
使用教材	VTR(欲求と適応機制、心身の相関とストレス、自己実現、思春期と健康、妊娠・出産と健康、家族計画と人工妊娠中絶)				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	欲求と適応機制	心の脳の働き さまざまな欲求	1 1	欲求の種類と 欲求不満から生じる	始業式
5	心身相関とストレス	欲求不満と適応機制 ビデオを見せる 心と体のかかわり ストレスと心身の健康	1 1 1	適応規制とは何かを学ぶ。 ストレスとはどのような状態か学ぶ	中間考査
6	ストレスへの対処	原因への対処 とらえ方を変えることによる対処 気分転換やリラクゼーション 信頼できる人や専門家への相談	1 1 1	ストレスについて自分でとること ができる対処法を学ぶ	期末考査
7	自己実現	自己実現と心の健康 自己実現の達成 (ビデオも見せる)	1 1 1	自己実現とは何かを学ぶ。	終業式 夏期補習
8	思春期と健康	思春期の体と健康	1	思春期における体の発達、行動面	始業式
9	性意識と性行動の選択	思春期の心と健康 ビデオを見る ビデオを見る 性意識の男女差と性的欲求	1 1 1	心理面の特徴を学ぶ。 男女の性的欲求のあらわれ方の	学校祭
10	結婚生活と健康	性に関する情報と性行動 心身の発達と健康 結婚生活と家族の健康	1 1 1	違いと情報が性行動におよぼす 影響を学ぶ 健康な結婚生活を営む 留意点を学ぶ。	中間考査
11	妊娠・出産と健康	受精・妊娠・出産 妊娠・出産期の健康のために ビデオを見せる	1 1 1	受精・妊娠・出産の過程と 留意すべき点を学ぶ。	期末考査
12	家族計画と人工妊娠中絶	家族計画の意義 避妊法とその選択 人工妊娠中絶	1 1 1	健康な家族計画の意義と方法、 及び人工妊娠中絶について学ぶ。	終業式
1	大気汚染と健康	大気汚染とその原因 大気汚染による健康影響 ビデオを見る	1 1 1	大気汚染はどのようにおこり どのように健康へ影響するか 学ぶ。	始業式
2	水質汚濁と健康	水質汚濁とその原因 水質汚濁による健康影響 ビデオを見る	1 1 1	水質汚濁はどのようにおこり どのように健康へ影響するか 学ぶ。	入試 期末考査
3	土壌汚染と健康	土壌汚染とその原因 大気汚染、水質汚濁 土壌汚染のかかわり ビデオを見せる	1 1 1	土壌汚染はどのようにおこり どのように健康へ影響するか 学ぶ。	終業式

教科名	外国語(英語)	科目名	英語演習 I	単位数	3単位
対象学年	第2学年 ビジネス総合科	履修形態	必修	授業形態	学級単位
科目の目標	最も基本的な中学校の英語の復習からスタートし、高校の英語力も身につけることができるようにする。				
学習内容の概要	異文化理解・国際理解を中心テーマに、地球環境問題、国際協力、比較文化、言語と民族、外国の高校生活、物語など、多彩な題材をとりあつかう。				
学習方法	生徒の実態に応じて、問題集やプリントなど補助教材を併用し、中学校における基礎的な学習事項を復習整理し、習熟するように指導する。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	全国商業高等学校主催英語検定試験問題集3級(実教出版) 英語マスターノート(増進堂・受験研究社) Watching Joyful (浜島書店) ベーシック プロGRESSIVE 英和・和英辞典(小学館)				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	英語検定試験問題集 Part 1 Listening・Speaking マスターノート 2~3	アクセント・文の区切り・文の強勢 例題・実践問題1 2. 彼は 3. 1冊の本, 2冊の本	3 3 3	最も強く発音する箇所、意味・文法で区切れる部分、文で何を一番言いたいのか考える。 3称主語、名詞の単数・複数形	始業式
5	英語検定試験問題集 Part 2 Reading Part 3 Writing マスターノート 4~5	長文(1)・長文(2)・長文(3) 適語選択・語形変化・語順整序 例題・実践問題1 4. 高校生です 5. 本があります	3 3 3 3	内容理解、話の場面を把握し、やりとりの流れをつかむ。イデオム、語法、文法力をつける。 be動詞 現在形1・2	中間考査
6	英語検定試験問題集 Part 1 Listening・Speaking マスターノート 6~10	アクセント・文の区切り・文の強勢 実践問題2	3 3 3 3	最も強く発音する箇所、意味・文法で区切れる部分、文で何を一番言いたいのか考える。 一般動詞現在形・助動詞・疑問詞	期末考査
7	英語検定試験問題集 Part 2 Reading Part 3 Writing マスターノート 11~12	長文(1)・長文(2)・長文(3) 適語選択・語形変化・語順整序 実践問題2 11. 勉強しなさい 12. 15歳でした	3 3	内容理解、話の場面を把握し、やりとりの流れをつかむ。イデオム、語法、文法力をつける。 命令文、be動詞過去形	終業式 夏期補習
8	マスターノート13~17	13. サッカーをしました14. 持っていました15. 勉強しました16. 歌っているところです17. サッカーをしていました	3	一般動詞過去形1~3 進行形1・2	始業式
9	Watching Joyful 1・2・3	Anime Director: Shinkai Makoto B. League Started The Lucky Iron Fish	3 3 3 3	映画「君の名は」新海誠監督作品の工夫、新プロバスケットボールリーグ誕生、カンボジアの人々を救う「鉄の魚」について学ぶ。	
10	マスターノート18~23	18. 月より大きい 19. 同じぐらい上手 20. 掃除し終えたところです 21. バンダを見たことがあります 22. 雨が降り続いています 23. 文の要素	3 3 3 3	形容詞と副詞の比較変化1~2 現在完了1~3 5文型1	中間考査
11	Watching Joyful 4・5・6 マスターノート24~26	Beautiful Country: Finland THE SOLAR BUDOKAN 24. SVOC 25. 多くの人々によって愛される26. 夏男と名づけられました	3 3 3 3	自然豊かな国フィンランドの魅力、リークエネルギーで奏でる野外音楽フェスについて知る。 5文型2、受身形1~2	期末考査
12	Watching Joyful 7・8・9	VR Can Change Your Life Market in Okinawa What Is the Hometown Tax?	3 3 3	バーチャルな世界の楽しみ方、沖縄の市場で食文化を満喫、全国の特産品・ふるさと納税について知る。	終業式
1	マスターノート27~32	27. 泳いでいる少年 28. 本を読むために 29. 英語を話すこと 30. そして、しかし、というのは 31. ギターを弾く友達 32. あなたが会った少年	3 3 3	現在分詞と過去分詞の形容詞的用法、不定詞、動名詞、接続詞、関係代名詞1~2	始業式
2	マスターノート33~34 Watching Joyful 10・11	33. 2人の息子がいる 34. 欲しかったものは新しい車です Wonders of Tasmania The History of Fireworks	3 3 3 3	関係代名詞非制限用法・関係代名詞what 珍しい動植物の宝庫タスマニア、夏の風物詩花火の歴史を学ぶ。	期末考査
3	Watching Joyful 12 マスターノート35~39	Special Wheelchairs for Children 35. 遊ぶことは危険です 36. 住んでいました 37. 私が生まれた場所 38. 家にいたでしょう 39. 歌を歌っていた	3 3 3	子供用車椅子スポーツの楽しさを知る。 句・節を指すit、過去完了、関係副詞・仮定法・分詞構文	終業式

教科名	商業	科目名	簿記	単位数	3単位
対象学年	第2学年 ビジネス総合科 ビジネスコース	履修形態	必修	授業形態	分割授業
科目の目標	この科目はビジネスコースの生徒に対し、2年次において全商簿記検定2級を取得することを目標としている。3級で学んだ個人企業の基本的な内容に加えて、特殊な取引・株式会社会計の基本内容を学ぶことにより、更に企業の経済活動への理解を深めることを図る。				
学習内容の概要	全商2級までの範囲の学習を通し、帳簿記入によって企業の経済活動を把握する力を養うとともに、経済・経営への興味・関心の啓発をはかる。また、検定試験を目標とした演習等において範囲の総復習と習熟を図る。				
学習方法	帳簿記入に用いられる科目を、分野・段階別に学習して行き、各段階における学習効果の充実を図る。生徒へは、不明な点等の質問を積極的に行うよう指示し、啓発的な学習となるよう指導する。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、中間・期末の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点については授業中の態度・姿勢・提出物の状況を客観的に判断し、20点満点で評価する。				
使用教材	ア. 実教出版「新簿記」 イ. 東京法令出版「完全段階式 標準簿記問題集 <全商2級>」 ウ. 実教出版「簿記実務検定 模擬問題集 2級」 エ. 教師作成プリント				
その他	補習 クラスの進捗・習熟度について判断し、必要に応じて行う。 補習を行う場合、1学期から2学期にかけては習熟の徹底をはかるための補習を行い、2学期末から1月末にかけては検定試験に向けての演習中心の補習を行う。				
年間授業計画					
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	決算	決算整理(その2) 財務諸表の作成 5伝票制による記帳	9	3級の決算整理事項との違いを理解し、その効果について考えながら学習する。	始業式
5	本支店会計	本支店間の取引 本支店財務諸表の合併	9	具体的な取引内容をイメージしながら記帳練習を行い、応用力の習得も行う。	中間考査
6	会計処理の合理化	特殊仕訳帳	12	普通の仕訳帳との違い、合理性を理解し、発展的思考を育てる。	全商簿記検定 期末考査
7		特殊仕訳帳	9	普通の仕訳帳との違い、合理性を理解し、発展的思考を育てる。	
8	特殊な取引の記帳	特殊な商品売買の記帳	3	具体的な取引内容をイメージしながら記帳練習を行い、応用力の習得も行う。	始業式
9		特殊な手形取引の記帳	12		
10	株式会社会計	株式会社の取引	12	個人企業との規模の違いと、それに伴う記帳内容の変化についての理解を図る。	中間考査
11	総復習・演習	模擬問題 過去の検定問題	12	総復習を行うことによって、8ヶ月間の学習内容を整理・理解する。	期末考査
12			9		終業式
1			9		演習によって記帳に習熟し、検定試験の合格を目指す。
2	形式別復習問題	形式別復習問題	12	形式別復習問題を行うことによって、2級の学習内容を整理・理解する。	期末考査
3			9		卒業式 終業式

※クラスにより、項目の順序は異なります。

教科名	商業	科目名	PC会計	単位数	3 単位
対象学年	第2学年 ビジネス総合科 ビジネスコース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業 選択科目
科目の目標	この科目は現代社会の会計現場にマッチした、会計ソフトを使用して見るという実習形式の授業で各科目である。 1年次で学んだ簿記学習の定着を図ると同時に、会計ソフトの基本的な使い方と習熟を目標とする。				
学習内容の概要	実際の企業の現場で使われている会計処理ソフトウェアを使い、コンピューターによる会計処理を学習する。				
学習方法	市販の会計処理ソフトである「弥生会計」の学校教育向けパッケージ弥生スクールを導入し、最新の環境の会計処理ソフトウェアを使用し、コンピューター会計による起票・記帳・決算の流れを学習する。 到達目標として検定を受検する				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、各学期は中間・期末の考查点と一部、考查に代替する提出課題及び平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度(服装・言葉遣い含む)・意欲・提出物の状況(忘れ物の有無を含む)・理解度の4項目で評価する。				
使用教材	一学期 ア. 教科書・問題集(オリジナル教材) 二学期 イ. 教科書・問題集(オリジナル教材) 三学期 ウ. 教科書・問題集(オリジナル教材)				
その他	日本商工会議所「電子会計検定」初級を受検する 授業の一部で研究授業を実施することもある 提出課題の一部にレポートを課す事もある 課題の提出は単位認定の必修事項とする(検定合格者は免除・検定料未納者は課題不合格とみなす)				
年間授業計画					
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	概要説明 導入授業	学習に当たっての目標・注意事項 授業を行うに当たっての一般的な 知識や心構えの指導 簿記会計の簡単な復習	9	ペアを組んだ実習授業の意味を理解 させると共に、必要な事柄について、 指導する。	始業式
5	ソフトの使用説明 企業活動と会計処理 会計ソフトの操作	ソフトウェアの使用説明 テキストによる解説の後基本設定	10	機械やソフトの使い方を覚える 起票・記帳の仕方について覚える	中間考查
6	会計ソフトの操作 記帳演習	テキストによる解説の後記帳練習	12	商品売買について起票・記帳 補助勘定科目について理解する	
7	企業の業務と会計処 理演習	テキストによる解説の後記帳練習	9	経費の支払いについて起票・記帳 給与・税金の仕組みについて学習 する	期末考查 終業式
8	企業の業務と会計処 理演習 レポート作成	テキストによる解説の後記帳練習 起業するとしたらと言う仮定でレポ ート作成(課題)	4	1学期の遅れがある者は調整する レポート作成(予定)	始業式
9	記帳演習 データの入力・集計	テキストによる解説の後記帳練習	12	主に起票・記帳練習 検定模擬問題に入れれば入る	
10	記帳演習 データの入力・集計	テキストによる解説の後記帳練習	12	総合的な起票・記帳演習 PC会計検定初級の問題	中間考查
11	会計データの活用	記帳練習とデータの活用解説	12	日商PC会計検定初級の問題 模擬問題を行う	
12	記帳演習 検定受験指導	テキストによる解説の後記帳練習 日商PC会計検定初級の問題	9	検定指導(模擬問題)を行う 受験については可能であれば	期末考查 終業式
1	記帳演習 検定受験指導	日商PC会計検定初級の問題	9	検定指導(模擬問題)を行う 12月で未受験の場合は1月受験	始業式 卒業考查
2	記帳演習 検定受験指導	テキストによる解説の後記帳練習 (総合練習問題)	12	総合練習問題を行う	期末考查 終業式
3	記帳演習	課題の提出について指導 (総合練習問題)	9	総合練習問題を行う	卒業式 期末考查

教科名	商業	科目名	原価計算	単位数	3 単位
対象学年	第2学年 ビジネス総合科 ビジネスコース	履修形態	選択	授業形態	分割授業
科目の目標	この科目はビジネスコースの生徒に対し、2年次において全商簿記検定1級 原価計算の内容を学習し、検定資格を取得する。				
学習内容の概要	全商1級 原価計算の内容を学習し、製造業における簿記についての知識を習得する。				
学習方法	帳簿記入に用いられる科目を、分野・段階別に学習して行き、各段階における学習効果の充実を図る。生徒へは、不明な点等の質問を積極的に行うよう指示し、啓発的な学習となるよう指導する。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、中間・期末の考查点と平常点・出席点で評価する。平常点については授業中の態度・姿勢・提出物の状況を客観的に判断し、20点満点で評価する。				
使用教材	ア. 実教出版「原価計算」 イ. 東京法令出版「完全段階式 標準簿記問題集 <全商1級 原価計算>」 ウ. 模擬問題集「1級 原価計算」 エ. プリント等の自主教材				
その他	補習 クラスの進度・習熟度について判断し、必要に応じて行う。 補習を行う場合、検定試験1ヶ月前を目安として検定試験に向けての演習中心の補習を行う。 それ以外の時期においては、習熟の徹底をはかるための補習を行う。				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	原価計算の基礎 費目別計算	工業簿記の特色 原価と原価計算 工業簿記のしくみ 材料費・労務費・経費の計算と記帳	9	商業簿記との違いを理解させる 原価計算(工業簿記)の特徴を理解させる	始業式
5	個別原価計算 (部門別原価計算)	個別原価計算と製造間接費の配賦 製造間接費の予定配賦・製造勘定 部門別計算と記帳 製造部門費の予定配賦	9	各勘定科目の流れを理解させる 予定配賦の目的とその処理方法について理解させる	中間考查
6	(仕損品・作業くず) 総合原価計算 (単純総合原価計算)	仕損品・作業くずの処理 総合原価計算と月末仕掛品の評価 単純総合原価計算	12	仕損じ・作業くずの意味について理解させる 個別原価計算との違いを理解させる	全商簿記検定
7	(等級別総合原価計算)	等級別総合原価計算	9	等級別の原価按分計算方法について理解させる	期末考查 終業式
8	(組別総合原価計算)	組別総合原価計算	3	各組ごとにそれぞれ計算を行なうことを徹底させる	始業式
9	(工程別総合原価計算) (副産物・作業くずの処理)	工程別総合原価計算 副産物・作業くずの処理	12	各工程間の流れを理解させる 副産物と作業くずの違いについて理解させる	
10	製品の完成と販売 決算 工場会計の独立	製品の完成と販売の処理 決算・財務諸表 工場会計の独立	12	販売時の処理について、商業簿記との違いを理解させる 工場・本社で使用する勘定科目の違いを理解させる	中間考查
11	原価の管理	標準原価計算 直接原価計算	12	これまでの各原価計算との目的の違いを理解させる	
12	復習問題 演習	検定模擬問題	9	検定試験本番を意識させ、これまでの学習内容の復習、補充を行い、全体的な理解度の向上を図る	期末考查 終業式
1	演習	検定模擬問題・過去出題問題等	9		始業式 全商簿記検定 卒業考查
2	復習	検定模擬問題・過去出題問題等	12	これまでの原価計算の全体像をあらためて認識し、広い視野でその計算体系を見直す。	学年末考查
3			9		卒業式 終業式

教科名	商業	科目名	広告と販売促進	単位数	3 単位
対象学年	第2学年 ビジネス総合科 ビジネスコース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業 選択科目
科目の目標	この科目は、広告や販売促進などに関する知識と技術を習得させ、企業と消費者間のコミュニケーション活動の意義や役割について理解させるとともに、販売に関連する活動を主体的、創造的に行う能力と態度を育てることを目標としている。				
学習内容の概要	広告や販売促進などに関する知識と技術、企業と消費者間のコミュニケーション活動販売に関連する活動を教科書を元に、より具体的な事例と共に学習する。				
学習方法	(1) 単に知識や技術の習得にとどまらず、具体的な事例の考察を通して理解させる。 (2) 広告の実習や販売の実習(インターンシップ)など体験的な実習を通して、実践的な知識と技術を習得させる。 (3) 新聞やビジネス誌の関連記事、具体的な事例を紹介したテレビ番組やWebページ、外部講師の活用を図る。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、各学期は中間・期末の考查点と一部、考查に代替する提出課題及び平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度(服装・言葉遣い含む)・意欲・提出物の状況(忘れ物の有無を含む)・理解度の4項目で評価する。				
使用教材	教科書・実務教育出版【広告と販売促進】 副教材・新聞やビジネス誌の関連記事、具体的な事例を紹介したテレビ番組やWebページなど その他、臨時に準備する教材。外部講師の準備した教材など。				
その他	提出課題の一部にレポートを課す事もある 授業の一部で研究授業を実施することもある				

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	第1章 販売促進 1 販売促進の目的 2 販売促進の方法	マーケティングの一環として重要な意義をもつこと、また、個人や企業に対する売促進の方法の概要について理解させる。	6	マーケティング・コミュニケーションの一環として重要な意義をもつことについて理解させる。販売促進の方法、概要について理解させる。	始業式
5	第2章 広告と広報活動 1 広告の目的 2 広告計画の立案と実施	広告が消費者の購買行動に及ぼす影響について理解させる。広告計画・立案・流れ・規制・倫理等について理解させる	10	広告の目的、校派生意欲に及ぼす影響等、理解させる。広告計画の立案、実施の流れ、倫理、予算について理解させる。出来れば、1つ実習を入れる。	中間考査
6	3 広告効果の測定 4 広報活動の意義と手法	広告を題材としたグラフィックデザイン、広告予算の考え方、広告の効果測定や改善方法などについて理解させる。	12	広告の意義や瀬や手法、役割について理解させる。効果測定について理解させると共に、広告方法の改善について理解させる。出来れば、1つ実習を入れる。	
7	学期のまとめ	1学期に学習した内容を整理させると共に定着を図る。	6	内容を整理すると共に、進度の過不足を調整する。	期末考査 終業式
8	第3章 店舗の立地と設計 1 店舗立地の重要性と立地条件	店舗立地の重要性と立地条件について学習し、理解させる。	2	店舗立地の重要性、立地条件等について理解させる。デザイン、ディスプレイの方法について具体的な課題を提出させる。出来れば、1つ実習を入れる。	始業式
9	1 店舗立地の重要性と立地条件 2 店舗設計	店舗立地の重要性と立地条件について学習し、理解させる。店舗設計の重要性と店舗設計の方法について理解させる。	12	店舗設計の重要性と店舗の設計方法について具体的な事例を元に理解させる。具体的な課題を設定し、店舗設計をさせる。	
10	3 商品陳列 第4章 販売活動 1. 人的販売と販売組織	商品の陳列について学習すると共に、販売の形態について理解させる。	12	商品陳列の重要性、方法、ディスプレイの機能について具体的な事例を取り上げ理解させる。販売の形態、販売員の役割、必要な資質や知識について理解させる。	中間考査
11	2. 接客の方法	接客の方法や心構えについて理解させる。	10	望ましい接客の方法について、ホスピタリティー、おもてなしの心を含めて理解させる。	
12	学期のまとめ	2学期に学習した内容を整理させると共に定着を図る。	8	内容を整理すると共に、進度の過不足を調整する。	期末考査 終業式
1	第4章 販売促進の発展と顧客満足の実現 1. 時代に合った販売促進	時代に合った販売促進の手法の変遷や、新しい手法について理解させる。	8	手法の変遷や、ダイレクトマーケティング、電子商取引などの時代に合った販売促進について理解させると共に、意義や課題について考えさせる。	始業式 卒業考査
2	2. 販売促進後の消費者対応	ただ単に購入や販売促進のための広告手法だけではなく、アフターサービスの重要性について理解させる。	10	消費者に対する販売後の責任や販売後のサービスの意義、望ましいあり方について具体的な事例を上げながら考えさせると共に、理解させる。	期末考査 終業式
3	学期・学年のまとめ	3学期に学習した内容を整理させると共に定着を図る。また、学年のまとめを行う。	6	内容を整理すると共に、まとめを行う。	卒業式 期末考査

教科名	商業	科目名	情報処理	単位数	3
対象学年	第2学年 ビジネス総合科 ビジネスコース 生活福祉コース	履修形態	必修	授業形態	クラス単位
科目の目標	情報処理機器の活用に関する知識と技術を習得させ、ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割について理解させるとともに、情報を適切に収集・処理し活用する能力と態度を育てる。				
学習内容の概要	ビジネスの諸活動における情報を収集・処理するための知識と技術を習得させるとともに、処理された情報を分析し活用する能力を育成する。利用するソフトの操作方法や理論に偏ることなく具体的なデータを用いた実習をさせる。				
学習方法	コンピュータ室での実習が中心になる。そのため昼休憩や放課後にも生徒が自由にコンピュータを操作できる環境を整備し提供する。ただし「情報」、「情報処理」がそのまま「コンピュータ」ではなく、情報の活用におけるコンピュータの利用を意識させる。				
評価の観点・評価方法	各学期に1回(期末)の筆記試験をおこなう。本校の内規に定める平常点(20%)の部分を実習点(20%~30%)とし、作品、意欲、態度を総合的に評価する。				
使用教材	実教出版「Personal Computer 情報処理21」・東京法令出版「パスポート 3級Excel」 副教材、その他 各種プリント				
その他	全国商業高等学校協会主催 情報処理検定(ビジネス部門)3級合格を視野に入れながら展開する。				

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	オリエンテーション	オリエンテーション	1		入学式
	コンピュータの基礎知識	ハードウェアに関する知識	38	ハードウェアの構成	
5		ソフトウェアに関する知識		ソフトウェアの構成 パーソナルコンピュータの操作 関連知識	中間考査
6		通信ネットワークに関する知識 情報モラルとセキュリティに関する知識 表計算ソフトウェアに関する知識		WWW・電子メール・サーバに関する知識 情報モラルとセキュリティ 表の作成 関数の利用 グラフの作成	
7	表計算の基本	Windowsの起動と終了 ウィンドウの操作 Excelの基礎	4	Windowsの起動と終了・画面構成等 ウィンドウのサイズ変更・スクロール等 Excelの起動・終了・基本画面 マウスポインタ・セルの範囲指定	期末考査
8					終業式
9	表計算の基本	データの入力 表の作成	45	数値・ひらがな・カタカナ・漢字の入力 データの消去・修正・移動・コピー等 合計・平均の計算 計算式のコピー・再計算・表の編集 グラフの種類と特徴・各部の名称	始業式 全商情報処理検定
10		グラフの作成		棒グラフの作成 折れ線グラフの作成・円グラフの作成等	中間考査
11		基本的な関数		最大(MAX)・最小(MIN)の関数 件数(COUNT・COUNTA)の関数 判定(IF)の関数 端数処理 相対参照と絶対参照	
12					期末考査
1		対策編	9	3級実技・筆記の検定学習	終業式 始業式
2		3級の復習	21	特に実技を中心に3級の範囲を 復習する	全商情報処理検定
3					学年末考査
					終業式

教科名	商業	科目名	ビジネスマナー	単位数	2単位
対象学年	第2学年 ビジネス総合科	履修形態	必修	授業形態	組単位授業
科目の目標	社会に出れば学生時代とは異なり、責任と義務が大きくなる。社会では常に全力をつくして仕事に取り組まなければならない。学生時代に社会人として必要なマナーと知識を習得させ、身につけ実践させることにより、ビジネスの諸活動が快適かつ意欲的に過ごせるよう学習させる。				
学習内容の概要	秘書検定の内容を通じてオフィスでの基本を身につけさせる。 労働基準法の内容を取り扱い、働くということが法的な観点から見てどのようなものなのかを理解させる。				
学習方法	座学による学習。单元ごとに問題を与え、理解度を図る。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期、二学期、三学期とも定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点は日常の服装・授業態度・意欲・提出物の状況・理解度等で評価する。				
使用教材	早稲田教育出版『秘書検定3級実問題集』、プリント				
その他	原則的に補習は行わない。 秘書検定3級取得を目指す。				
年間授業計画					
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	身だしなみ オフィス環境	望まれる身だしなみ 室内清掃、環境整備	6	・服装全般を中心に職場において望まれる身だしなみについて理解させる。 ・応接室、会議室など清掃、整備のポイントを理解させる。	始業式
5	オフィス用品  文書	ファイリングと資料管理 名刺の管理 主な事務用品 各種消耗品 受発信文書 マル秘文書の取り扱い	5	・資料や名刺の管理に必要な道具と整理の仕方、資料管理の重要性について理解させる。 ・基本的な文書構成、文書の取り扱いについて理解させる。	中間考査
6	郵便物  対話・言葉遣い  電話応対	各種郵便物 特殊取扱郵便物 尊敬語 謙譲語 電話のかけ方、受け方	5	・各種郵便物の特徴、特殊取扱郵便物の種類と特徴について理解させる。 ・敬語の種類と使い分けについて理解させる。 ・電話応対の注意点を理解させる。	期末考査
7	慶弔・贈答	慶事、弔事 各種贈答	4	・各種慶弔・贈答に必要な知識、注意事項を理解させる。	終業式 夏期補習
8	来客応対	席次 上司不在の場合 茶菓接待	2	・来客の応対に必要な注意点について理解させる。	始業式
9	会議とその準備  主張とその準備	事前準備と後始末  出張における秘書の仕事	8	・会議における秘書の役割について理解させる。 ・出張時の秘書の仕事について理解させる。	
10	検定練習	過去問練習	6	・実問題集を用いて検定試験に備える。	中間考査
11	検定練習  慶弔	過去問練習  金子包の上書き練習	6	・実問題集を用いて検定試験に備える。 ・慶弔時に使用する金子包に毛筆で表書き練習し、綺麗な文字が書けるようにさせる。	秘書検定期末考査
12	検定練習	過去問練習	4	・実問題集を用いて検定試験に備える。	
1	検定練習	過去問練習	5	・実問題集を用いて検定試験に備える。	終業式 始業式
2	検定練習	過去問練習	6	・実問題集を用いて検定試験に備える。	期末考査
3	検定練習	過去問練習	5	・実問題集を用いて検定試験に備える。	終業式

教科名	商業	科目名	税務会計	単位数	2単位
対象学年	第2学年 ビジネス総合科 ビジネスコース	履修形態	必修	授業形態	分割授業
科目の目標	全国経理教育協会主催 所得税法3級の取得を目指す。				
学習内容の概要	検定試験を目標とした演習等において確定申告書の作成の習熟を図る。				
学習方法	教師作成プリントを中心に、学習を進める。生徒へは、不明な点等の質問を積極的に行うよう指示し、啓発的な学習となるよう指導する。				
評価の観点 ・ 評価方法	規定に従い、中間・期末の考查点と平常点・出席点で評価する。平常点については授業中の態度・姿勢・提出物の状況を客観的に判断し、20点満点で評価する。進級認定については、所得税法3級取得・または、検定レベルの確定申告書の作成ができることとする。				
使用教材	ア. 教師作成プリント イ. 英光社「所得税法テキスト」 ウ. 所得税法3級模擬問題集				
その他	補習 クラスの進捗・習熟度について判断し、必要に応じて行う。				
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時 間	学 習 の ポ イ ン ト	主 な 学 校 行 事
4	所得税の概要	所得の意義 所得の種類と所得税計算の仕組み 源泉徴収制度 青色申告制度	6	所得の意義や種類・所得税計算の簡単な仕組みを理解する。	始業式
5	所得税の概要	所得の意義 所得の種類と所得税計算の仕組み 源泉徴収制度 青色申告制度	6	源泉徴収制度・青色申告制度の意味を理解する。	中間考查
6	所得内容とその計算方法	利子所得 配当所得 不動産所得 事業所得 一時所得 給与所得 退職所得 山林所得 譲渡所得 雑所得	8	それぞれの所得の計算方法を理解し、習熟する。	
7	所得控除と課税総所得金額	所得控除の意義 所得控除の種類	6	所得控除の種類と控除額の計算を理解する。	期末考查 終業式 夏期講習
8	所得控除と課税総所得金額	総所得金額の計算	2	所得控除の種類と控除額の計算を理解する。	始業式
9	検定模擬	所得税法3級の総まとめ	8	これまでの学習を踏まえて、検定模擬の習熟を図る。	
10	検定模擬	所得税法3級の総まとめ	8	これまでの学習を踏まえて、検定模擬の習熟を図る。	中間考查
11	検定模擬	所得税法3級の総まとめ	8	これまでの学習を踏まえて、検定模擬の習熟を図る。	
12	検定模擬	所得税法3級の総まとめ	6	これまでの学習を踏まえて、検定模擬の習熟を図る。	期末考查
1	検定模擬	所得税法3級の総まとめ	6	これまでの学習を踏まえて、検定模擬の習熟を図る。	始業式 全商簿記検定
2	検定模擬	所得税法3級の総まとめ	8	これまでの学習を踏まえて、検定模擬の習熟を図る。	所得税法3級受験 期末考查
3	復習	所得税法3級	6	これまでの学習を踏まえて、学んだ内容を復習をする。	卒業式 終業式

教科名	家庭	科目名	フードデザイン	単位数	2 単位
対象学年	第2学年 ビジネス総合科 生活福祉コース	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
科目の目標	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、食事を総合的にデザインする能力と態度を育てる。				
学習内容の概要	1. 食生活と健康 2. 栄養素のはたらきと食事計画 3. 調理の基本 4. フードデザイン実習				
学習方法	・教科書を通して、食生活に関する基本的な知識を身に付けるとともに、調理の実習を通して、食品の適切な扱い方や基礎的な調理技術の習得を目指す。 ・授業で身に付けた食生活に関する知識や技術を日常生活の中で生かし、日々の食生活の改善、充実に努める。				
評価の観点・評価方法	・評価の観点は①食生活への関心、意欲、態度 ②食生活における課題を主体的に解決するために思考、判断 ③献立、調理の基礎的、基本的な技術の習得状況 ④知識、理解 の4項目とする。 ・評価の方法は、規定に従い考査の成績とノート、プリント提出状況、実習への参加、態度などを各学期ごとにまとめる。また、授業中の学習態度、出席状況について考慮し、総合的に評価する。				
使用教材	フードデザイン(実教出版)、課題プリント				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	食生活と健康	食事の意義と役割	2	食事の意義・役割には生理的役割、社会的役割があることを理解する。現在の食生活の問題点を理解するとともに、自らの食生活を見直す。	始業式
		食をとりまく現状	4		
5	栄養素のはたらきと食事計画	からだのしくみと食べ物	2	人体の物質組成について理解する。5大栄養素の3つの主な働きを復習する。身近な食べ物に含まれる栄養素やその量を通して、各栄養素の種類、はたらき、代謝を理解する。	中間考査
		炭水化物	4		
		脂質	2		
6	調理の基本	調理操作	2	実習に先立ち、実習室の使用法、調理器具の扱い方、基本的な調理操作を理解する。	
		フードデザイン実習について	2		
7	フードデザイン実習 (実習施設の使用状況により適宜実施)	フードデザイン実習①	2	簡単な日常食の調理方法を理解する。	期末考査
		たんぱく質	3		
8		ビタミン	2		終業式
		ミネラル	2		
9		水・その他の物質	2		始業式
10		消化と吸収	4	からだのしくみを通して、各栄養素の消化・吸収・排泄について理解する。	
		フードデザイン実習②	3		
11		食事摂取基準と食事計画	8	栄養所要量について学び、自身の所要量を計算することにより理解を深め、また、日本人の食事摂取状況の問題点を考える。	中間考査
			5		
12		フードデザイン実習③	3	簡単な日常食の調理方法を理解する。	期末考査
		ライフステージと栄養計画	2		
1		乳児期の栄養計画	2	各ライフステージにおける生理的特徴と食生活における注意点、問題点を理解し、実際の食事計画に生かす。	終業式
		幼児期の栄養計画	2		
2		フードデザイン実習④	4	簡単な行事食の調理方法を理解する。	始業式
		幼児期の栄養計画	1		
3		学童期の栄養計画	1	簡単な日常食の調理方法を理解する。	
		フードデザイン実習⑤	3		
3		思春期・青年期の栄養計画	2	簡単な日常食の調理方法を理解する。	期末考査
		成人期の栄養計画	2		
3		高齢期の栄養計画	2		
		フードデザイン実習⑥	2		
3		実技テスト	2	包丁の扱い方などの基礎的技術の習得を確認する。	
		フードデザイン実習⑦	2		
		まとめ	1	簡単な菓子の調理方法を理解する。	終業式

教科名	家庭	科目名	服飾手芸	単位数	2単位
対象学年	第2学年 ビジネス総合科 生活福祉コース	履修形態	必修	授業形態	実習
科目の目標	手芸の種類と変遷、各種手芸の技法などに関する知識と技術を習得させ手芸品を創造的に製作し、服飾に活用する能力と態度を育てる。				
学習内容の概要	「1さしこ 2巾着袋 3パッチワーク 4ぼうし 5編み物」の製作				
学習方法	①主体的に授業に取り組むようにする。 ② 計画的な手芸品製作が出来るようにする。				
評価の観点・評価方法	・評価の観点は①服飾手芸への関心、意欲、態度 ②生活課題を主体的に解決するために思考、判断 ③基礎的、基本的な技術の習得状況 ④知識、理解 の4項目とする。 ・評価の方法は、作品の評価、実習への参加、態度などを各学期ごとにまとめる。また、授業中の学習態度、出席状況について考慮し、総合的に評価する。				
使用教材	各種手芸材料				
その他	期限内に作品を完成し提出するようにする。				
年間授業計画					
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	オリエンテーション	手芸の種類と変遷 手芸の用具・作業の注意点	3	・手芸の種類や歴史等について理解する。 ・用具の種類と使い方を理解する。 ・特に安全に留意することを確認する	始業式
	さしこの花ふきん	図案をうつす	3	・写し方の方法を習得する。	
5		運針の基礎	4	・玉止め、運針、玉結びなど運針の基礎を確認する。 ・刺し目をそろえ、丁寧に刺し子をする。	中間考査
		仕上げ	2	・二枚仕立てのふきんに仕上げる	
6	きんちゃく袋	裁断・しるしつけ ミシン縫いの基礎	2 6	・裁断・しるしつけの方法を習得する。 ・待ち針、しつけ、ミシン縫いの一連の基礎を確認する ・①脇を縫う②あきを縫う③ひも通し口を縫う④ひもを通す。	
7		染色	6	・①絞りを作る② 染液を作り染色③ つけ置き④ 媒染剤を作り媒染⑤ 絞りをほどく⑥ 水洗いして日に干す	期末考査 終業式 夏期補習
8	課題	手芸作品	2	布を使った手芸作品を完成させ、提出する	始業式
9	パッチワーク	・裁断 ・ピースワークする。	2 6	・裁断・しるしつけの方法を習得する。 ・縫い方の基本とピースワークの手順を理解する。	
10		・キルトラインを描く ・ベースティングする ・キルティングする	1 1	・ピースワークした表布にキルトラインを描く ・裏布の裏、キルト芯、トップの表を下から順に重ね、しつけをかけて3層をとめる	中間考査
		・仕上げ	3 3	・キルトラインに沿って刺し縫いする。 ・ボーダー布で縁を始末する。	
11	ぼうし	裁断・しるしつけ ミシン縫い	2 6	・裁断・しるしつけの方法を習得する。 ・待ち針、しつけ、ミシン縫いの一連の基礎を確認する ・①サイドクラウンを縫う②トップを縫う③仕上げ	
12		刺しゅう	6	・用具について ・図案の写し方について ・ステッチの種類と刺し方 ・ぼうしにワンポイントの刺繍をする	期末考査 終業式
1	編み物	編み物の種類 編み物の基礎技法	6	・かぎ針編みの基礎 ・棒針編みの基礎 ・編み目の増減方法 ・はぎ方・とじ方	始業式
2		編み物作品の製作	8	・作品製作  ・編み物は完成まで時間がかかることをことを理解し、根気強く仕上げる	期末考査
3		作品発表 感想文	4 1 1	・作品を発表し、互いに鑑賞する ・1年をふりかえる	終業式
	まとめ				

教科名	家庭	科目名	生活と福祉	単位数	2単位	
対象学年	第2学年 ビジネス総合科 生活福祉コース		履修形態	必修	授業形態	一斉授業
科目の目標	高齢者の健康と生活、介護などに関する知識と技術を習得させ、高齢者の生活の質を高めるとともに、自立生活支援と福祉の充実に寄与する能力と態度を育てる。					
学習内容の概要	高齢者の福祉と日常生活における看護・介護についての基礎的・基本的な知識と技術を習得させることをねらいとする。					
学習方法	教科書のみではなく、関連する資料・VTRの使用及び外部講師等による体験学習を通し、生徒に興味・関心を持たせながら、役に立つ知識や技術を身につけさせる。					
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点20点は授業態度や意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。					
使用教材	生活と福祉(実教出版)					
その他						

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	第1章 人の一生と生活・健康	・健康の概念を知る ・ライフステージごとの健康管理	2 3	・年代別にどのような健康管理が必要なのかを知り、日々の生活で考えなければいけないことを知る。	始業式 入学式
5	第2章 高齢化の現状と高齢者の特徴	・高齢化の現状 ・高齢者の生活課題の改善を考える	3 3	・高齢社会から超高齢社会へという現状を知り、高齢者の生活を支えていくためにはどうしたらいいか考える。 ・高齢者の経済生活や健康について知り、どのように関与していくべきか考える。	中間考査
6		・高齢者の体や心の変化、生活の特徴	6	・老化によって起こる高齢者の体や気持ちの変化を知り、生活で気をつけていかなければいけないことを知る。	県総体
7	第3章 高齢者の自立生活支援	・ノーマライゼーションの考え方の広まりについて	6	・福祉の考えの元となっているノーマライゼーションについて知る。	期末考査 スポーツ祭 終業式
8		・自立生活支援のための社会の体制	2	・自立を助けるための福祉政策について知る。	始業式
9		・高齢者介護の考え方を知る ・麻痺、視覚障害、認知症について知り、介護方法を学ぶ	2 5	・高齢者に多い病気や障がいについて知り、介護方法や、配慮しなければならないことを学ぶ。	学校祭
10	第4章 高齢者支援の法律と制度	・社会保障制度と高齢者福祉のあゆみを知る	7	・現在に至るまでの日本の福祉政策の歴史を学ぶ。	中間考査
11		・介護保険制度と新たに導入された地域包括ケアシステムについて知る	8	・なぜ介護保険ができたのか学び、保険の内容や申請手順を知る。 ・地域ケアシステムについて、米子市内の法人の実際の取り組みから学習する。	期末考査
12	第5章 介護・看護の実習と生活支援	・体位変換 ・歩行、車いすの介助	2 3	・体位変換の必要性と正しいやり方を知る。 ・麻痺がある人の歩行介助のやり方を知る。	期末考査 終業式
1		・食事の介助 ・清潔 ・窒息と誤嚥 ・転倒と骨折	2 1 1 2	・高齢者が起こしやすい誤嚥について学び、誤嚥を予防するための食事の仕方を知る。 ・骨折は寝たきりの原因になることを確認し、転倒の起こりやすい状況とそれを防ぐための方法を知る。	始業式
2		・火傷 ・熱中症 ・高血圧と低血圧 ・糖尿病	2 1 1 2	・日常生活で起こりやすいケガや生活習慣病について知り、治療方法だけでなく予防するために毎日の生活でどのようなことを考えていかなければいけないか知る。	期末考査
3		・衣食住の生活支援	6	・高齢者のための調理や洗濯、掃除の支援の方法について学ぶ。	終業式

教科名	家庭	科目名	食品	単位数	2 単位
対象学年	第2学年 ビジネス総合科 生活福祉コース	履修形態	選択	授業形態	講義・実習
科目の目標	食品の分類とその特徴、食品の表示、食品の加工と貯蔵などに関する知識と技術を習得させ、食品を適切に選択、活用して食生活の充実向上を図る能力と態度を育てる。				
学習内容の概要	(1)食品の分類とその特徴 (2)食品の表示 (3)食品の加工と貯蔵 (4)食品の生産と流通				
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品に関する専門的な知識を身に付けるとともに、食品及び食品の加工、貯蔵に関する実習を通して、技術の習得を目指す。</li> <li>授業で身に付けた食品に関する知識や技術を生かし、食品の適切な選択、活用による食生活の充実向上に努める。</li> </ul>				
評価の観点・評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価の観点は①食品の適切な選択、活用を通じた食生活への関心、意欲、態度 ②食生活の中での食品の選択、活用における思考、判断 ③食品及び食品の加工、貯蔵に関する基礎的・基本的な技術の習得状況及び表現 ④知識、理解 の4項目とする。</li> <li>評価の方法は、規定に従い考査の成績とノート、プリント提出状況、実習への参加、態度などを各学期ごとにまとめる。また、授業中の学習態度、出席状況についても考慮し、総合的に評価する。</li> </ul>				
使用教材	課題プリント				
その他					

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事		
4	(1)食品の分類とその特徴	ア 食品の成分と分類	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品の分類について、食品の栄養的特徴により分類した食品群と、「日本食品標準成分表」で用いられている食品の分類方法を理解する。</li> <li>穀類、いも及びびでん粉類、豆類、野菜類、果実類、きのこ類、藻類とその加工品について、代表的な食品の栄養的特徴、調理上の性質、利用法などを理解する。</li> <li>魚介類、肉類、卵類、乳類とその加工品について、代表的な食品の栄養的特徴、調理上の性質、利用法などを理解する。</li> <li>植物性油脂、動物性油脂、加工油脂について、代表的な食品の栄養的特徴、調理上の性質、利用法などを理解する。</li> <li>調味料、甘味料、香辛料及び嗜好品について、使用目的とその役割、利用法などを理解する。</li> </ul>	始業式		
5		イ 植物性食品とその加工品	4		中間考査		
6			6		インターンシップ 期末考査		
7		ウ 動物性食品とその加工品	6		終業式		
8			2		始業式		
9		エ 油脂	4				
			4				
10		オ 調味料、甘味料、香辛料及び嗜好品	8		中間考査		
11		(2)食品の表示	ア 食品の表示制度		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品衛生法、健康増進法、農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律などの法規に基づく食品の表示方法について理解する。</li> <li>生鮮食品、加工食品などの各種食品の具体的な表示方法について理解する。</li> </ul>	期末考査
			イ 各種食品の表示		4		
12	(3)食品の加工と貯蔵	ア 食品の加工	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品加工の目的は、食味、消化、栄養、貯蔵性、流通性、利便性の向上にあること、物理的加工、化学的加工、微生物や酵素による加工について、その目的、方法、成分の変化などを理解する。</li> <li>貯蔵の目的は変質や腐敗の防止、品質の維持にあること、乾燥・塩蔵・糖蔵・酢漬・冷蔵・冷凍・缶詰・びん詰・くん製・殺菌・ガス置換・放射線などによる貯蔵方法について、その原理と特徴を理解する。</li> </ul>	終業式		
1		イ 食品の貯蔵	6		始業式		
2			8		期末考査		
3	(4)食品の生産と流通	ア 食品の流通と食料需給	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学技術の進歩、高度な生産技術や加工技術の開発により、食品の生産が多様化している現状、食料生産と消費の推移、輸入状況、食料自給率などについて理解し、食料需給などの食料問題について考える。</li> <li>主な食品の流通機構の概要や安全な食品の流通を図るための仕組み、食品のトレーサビリティシステムなどについて理解し、その機能や課題などについて考える。また、食費者ニーズに対応した流通についても関心を持つ。</li> </ul>	終業式		
		イ 食品の流通機構	3				

教科名	家庭	科目名	子ども文化	単位数	2単位	
対象学年	第2学年 ビジネス総合科 生活福祉コース		履修形態	選択	授業形態	講義・実習
科目の目標	子どもと遊び、子どもの表現活動、児童文化財などに関する知識と技術を習得させ、児童文化の充実を図る能力と態度を育てる。					
学習内容の概要	子どもの遊びの意義と重要性及び遊びの種類と発達とのかわり、子供の表現活動の意義とそれを支える児童文化財の重要性などを事例を通して具体的に学ぶ					
学習方法	教科書のみではなく、関連する資料・VTRの使用及び外部講師等による体験学習を通し、生徒に興味・関心を持たせながら、役に立つ知識や技術を身につけさせる。					
評価の観点・評価方法	知識や技術を応用発展することができるかを定期考査、授業態度、提出物等を通して総合的に評価する。					
使用教材	教科書「児童文化」(文部科学省)					
その他						

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	オリエンテーション 児童文化とは何だろう	児童文化とは 児童文化を歴史から考える	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものための文化活動、児童文化財、児童文化施設などの重要性について理解する</li> <li>・社会の変化に伴い、子供の遊びの環境が変化する中での児童文化の役割について考える。</li> <li>・子供の遊びの重要性及び遊びの種類と発達のかかりについて理解する。また、伝承遊びについて知るとともに、遊びと遊具のかかり、遊具の遊び方や与え方などを学ぶ。</li> <li>・玩具の制作</li> <li>・子どもの表現活動の意義とそれを支える児童文化財の重要性について学ぶ。</li> <li>・絵本の意義と特徴について学ぶ。</li> <li>・紙芝居を演じたり、絵本の読み聞かせを行う。</li> <li>・絵本の製作</li> <li>・テレビ、キャラクター、ゲームについて理解を深める。</li> <li>・折り紙などを利用しながら年中行事について考える。</li> <li>・子どもの健全な遊びや表現活動を支える代表的な施設を取り上げ、その意義と活用について考える。</li> </ul>	
5	子どもと遊び	遊びの意義と発達 遊びの現状 遊びと遊具・玩具 遊びと伝承	6		中間考査
6	子どもの表現活動	子どもの表現活動のおもしろさ 造る・描く	8		期末考査
7		言語表現活動	8		終業式
8			2		
9	子どもと文学	歌う・踊る・演奏する 素話 紙芝居	8		
10		絵本	8		体育祭 中間考査
11		児童文学 アニメーション	8		文化祭 期末考査
12	現代の子どもの生活と文化	テレビ・キャラクターゲーム	6		終業式 始業式
1		子どもと年中行事	6		
2	児童文化を支える活動	児童文化活動	8		期末考査
3		児童文化のための施設	6		